

福井県総合防災訓練および緊援隊中部ブロック合同訓練の実施結果

1. 目 的

- ・災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を行い、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的に実施。
- ・令和元年度は大野市真名川憩いの島を主会場に、福井県総合防災訓練および中部 7 県による緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練を実施した。
- ・大規模複合災害への着実な対応として、実動部隊による現地を活用した実践的な訓練、県整備臨時ヘリポートを使用した孤立集落救出訓練や防災関係機関によるライフライン復旧訓練、外国人避難者への避難支援、また、2 市において住民避難・誘導訓練を実施した。

2. 日時、場所

- (1) 1 日目：令和元年 11 月 1 日（金）8 時 30 分～
福井県庁、福井県消防学校、中部縦貫道建設工事現場（大野市）など
- (2) 2 日目：令和元年 11 月 2 日（土）8 時 30 分～12 時 00 分
 ■主訓練会場 真名川憩いの島（真名川河川敷、大野市中保地係）
 ■サテライト会場 雁が原スキー場（勝山市 170-11-1）
 奥越ふれあい公園（大野市篠座 70-46） など

3. 主 催

消防庁 福井県 福井県消防長会 緊急消防援助隊中部ブロック訓練実行委員会

4. 想 定 奥越地域における大雨および地震による複合災害

○ 1 日目（緊急消防援助隊訓練の想定）

奥越地域を震源とする地震（震度 5 強）により、緊急消防援助隊が参集し救助活動を実施

○ 2 日目（福井県総合防災訓練等の想定）

奥越地域を震源とする地震（震度 6 強）により、自衛隊他防災機関が参集し救助活動を実施

5. 参加機関 170 機関（約 2,000 人）

(1) 国の行政機関

中部管区警察局福井県情報通信部、北陸総合通信局、敦賀海上保安部、東京管区気象台福井地方気象台、近畿地方整備局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、近畿地方

(2) 自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、
陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、航空自衛隊第6航空団

(3) 警察関係

福井県警察本部、大野警察署、勝山警察署、各市防犯隊

(4) 応援県

石川県、富山県、岐阜県、奈良県

緊急消防援助隊中部6県ブロック防災訓練関係

石川県・富山県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

(5) 消防関係

福井県消防長会、大野市消防本部、勝山市消防本部、福井市消防局、嶺北消防組合消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、永平寺町消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、大野市消防団、勝山市消防団、自主防災組織、(公社)福井県消防協会

名古屋市消防局、静岡市消防局、浜松市消防局、金沢市消防、富山市消防局、四日市市消防局、岐阜市消防局、大津市消防局、ほか緊急消防援助隊参加各消防本部

(6) 医療関係

(一社)福井県医師会、(一社)勝山市医師会、(一社)大野市医師会、(一社)福井県歯科医師会、(公社)福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、福井県赤十字救護奉仕団、大野市赤十字奉仕団、勝山市赤十字奉仕団福井県無線赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井大学医学部付属病院、福井勝山総合病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、福井総合病院

(7) 交通運輸関係

福井県倉庫協会、(一社)福井県トラック協会、日本通運(株)福井支店、(一社)日本自動車連盟、えちぜん鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)金沢支社福井地域鉄道部、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTフィールドテクノ北陸支店、(公財)日本公衆電話会、(株)NTTドコモ北陸支社、ドコモCS北陸(株)、KDDI(株)北陸総支社、ソフトバンク(株)、北陸電力(株)福井支店、(一財)北陸電気保安協会福井支店、(一社)福井県電業協会、福井県管工事業協同組合、(一社)大野市建設業協会、(一

社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、福井県石油商業組合、関西電力(株)原子力事業本部、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構

(9) 各種団体

NHK福井放送局、北陸地方非常通信協議会、福井県行政書士会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、大野市社会福祉協議会、大野和光園、福井県ドローン協会、日本郵便(株)、勝山市災害ボランティアセンター連絡協議会、(公財)福井県国際交流協会、協同組合中部研修機構、福井県石油業協同組合、(株)福井銀行、福井街角放送(株)、たんなん夢レディオ、(株)日立国際電気、大塚製薬(株)、福井県民生活協同組合

(10) 地元地区関係

大野市、勝山市

6. 主な訓練項目

(1) 近年多発する大規模災害に対応した訓練

① ブラインドによる県災害対策本部運営訓練(図上訓練)

- ・災害情報共有システム(D-NET)を用いた情報共有
- ・陸海空自衛隊が参加する合同調整会議を実施

② 実動機関による実践的な訓練

○実際の災害現場に近い状況での実動訓練

- ・消防装備のドローンを用いた山岳救助
- ・全地形対応車による土砂災害対応
- ・実際の斜面を用いた土砂埋没者の救出

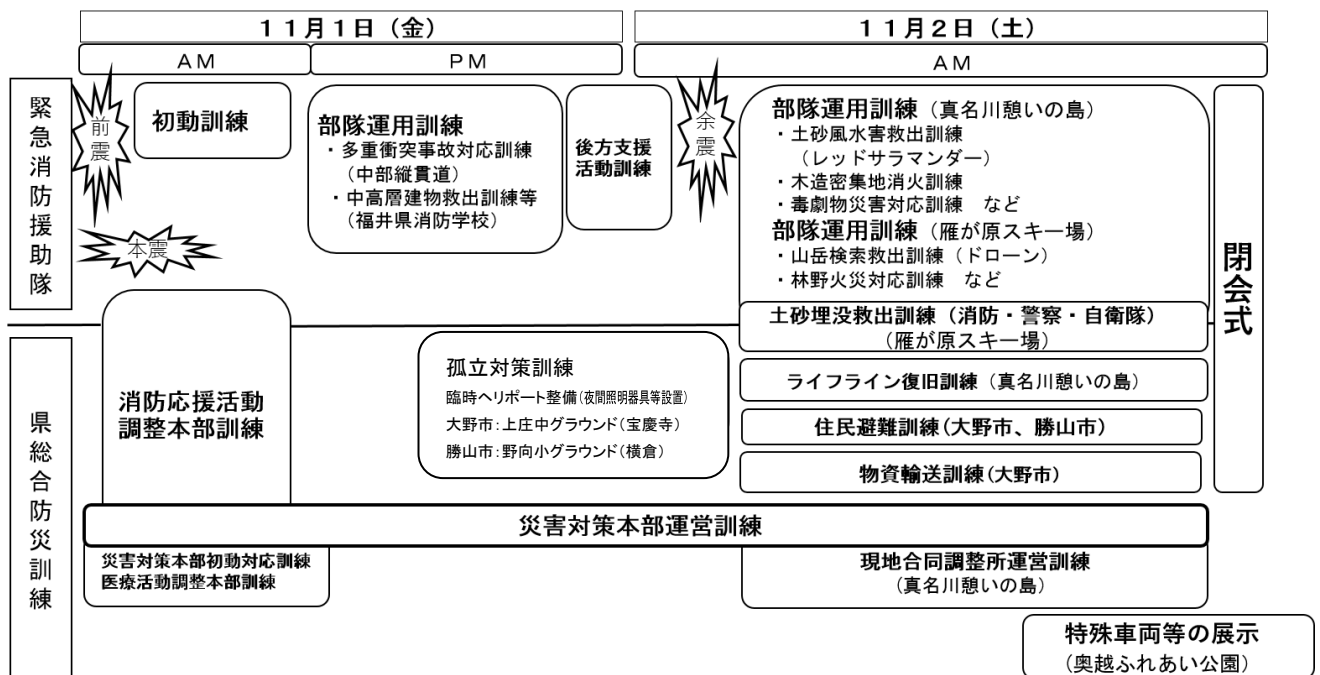
○現地を活用した実動訓練

- ・中部縦貫道トンネル内での多重衝突事故からの救出
- ・孤立者の救出(孤立集落→県整備臨時ヘリポートへ)

③ 防災関係機関によるライフライン復旧訓練

- ・緊急送電による電力の復旧
- ・給水管の復旧

<訓練項目図>



(2) 住民避難訓練・支援訓練

- ・大野市、勝山市全域 約 3, 0 0 0 名が住民避難訓練に参加
- ・大野市小山小学校、勝山市北郷小学校、野向小学校で避難所運営訓練を実施
- ・外国人（大野市在住の技能実習生約 2 0 名）避難支援訓練
- ・陸路・空路による物資輸送（物資集積拠点→避難所へのラストワンマイル訓練）

7. 訓練を通じた課題等

- ・訓練参加者からは、実動機関による救出救助訓練を実施したが、実動機関が到着するまでの間、自主防災組織による訓練を実施してはどうか、という声があった。今年度は消防団や自主防災組織等による救出救助について検討していく。
- ・図上訓練では、災害対策本部に受入部門を新設し、関係機関と受援体制の確認や応援要請の手順確認を行ったが、受入部門と各部門の情報共有が課題となった。引き続き、受入訓練を実施し、応援隊をスムーズに受け入れるため、今後の広域災害の対応における受援を想定した体制整備を実施していく。
- ・また、住民からは防災行政無線による避難情報が聞こえづらかったという声があったため、今年度は外部スピーカーやエリアメールに加え、一斉電話配信システム等で、避難情報が確実に住民に届くよう、伝達訓練を実施していく。